

大坪本流陰陽之卷

天地完クルト其清陽ナル者ハ
薄摩テ天トナリ重濁ル者ハ淹
滞テ地トナル精妙ナルカ合ルハ
搏易重濁カ凝タルハ場難シ天
先成テ地後ニ定ル神其中ニ生
ス是天地人之三ツニシテ有トアラ



明治三十八年一月三十日

子爵足利於菟丸氏寄贈

ス是天地人之三ツニシテ有トアラ
ユル物陰ト陽トニハラマル、ト春夏
秋冬ヲ以テ覺東西南北トモニ陰
陽ニシテ南ハ陽小ハ陰也我身則
四面ニシテ前ハ陽ニシテ南後口ハ
陰ニシテ北左ハ東右ハ西也是故
ニ日月星辰東西南北春夏秋
冬花咲鳥ノサヘツリ扇子ノ
風ニヨセテ螢ノ飛露深キ楓ノ
紅葉ニシテ霜霜置雪降雨ホトコ
ス一モ天地此身一ツニシテニツナラ
サル者也陽氣ナル時ハ心勇ミ
陰氣ナル時ハ心危々タリサレハ
陰陽二氣ハ自然ノ正氣也私ノ
思ニ引レニ嗔ヲ発シテ事ヲ爲ハ

思ニ引レニ_ニ嗔ヲ発シテ事ヲ爲ハ
陽氣ノ邪也私意ヲ忘レ直成心
ニテ勇事ハ正陽ノ氣也或陰氣ニ
シテ危々ト闇ク迷事アリ又氣靜
ニシテ寒夜ニ霜ヲ聞ク事是正陰
ノ氣也

陽馬之事

陽馬トハ上悍前強之馬也兼姿々其
僂ニシテ心寬大成ヘシ手絶鞍深
深トシテカ_レ氣身ナク走ルヲ止メ
馬ヲ蜘蛛ノ糸ニテ繫キ少シモ逆
スシテ棄ヘシ馬強立騷シキ折柄
ハ馬ニ勝所アリ_レ口ノ内ニ弱キ
所ヘ引_レ掛_レ誥ヘシ勝ヲ勝タルト思
フヘカラス鞍下ノ位口先ノ純合上

フヘカラス鞍下ノ位口先ノ純合上
ノ心ニ移リタル時請合ノ口ヲ取留
兼ヘシ手綱鞍拘ハ前書ニ記ス故ニ
畧之者也

陰馬之事

陰馬トハ下悍止ル馬也勢ヲ挫テ前
心ヲ專ト兼ヘシ馬内成故夜ノ内ヨ
リ明方ヘ馳出シタル吉陰ヨリ陽ニ
移ル心也口ノ引合鞍下ノ純合前
書ニ記ス馬ニ當リテハ勝心惡敷也
馬ニ利ヲ得サスル一專也口傳

陽中陽馬之事

陽中ノ陽馬トハ過物之事也強悍
ナル故兼人ヲ嫌イ兼サル馬也兼懸
ハ大概陽馬ノ如シ唯夜兼遠兼ヲ

ハ大概陽馬ノ如シ唯夜乘遠乗ヲ
專トスヘシ馬大陽成故日アル内ヨ
リ地道ヲ乘夜ニ入馳ヲ乘ヘシ陽
ヨリ陰ニ入ル心也是第一之秘事也
亦遠乗ナトスル時モ日アル内ニ乗
出シ夜ニ入家ニ帰ルヘシ種々口傳
有之馬癸含地道落着スシテ心
騷シキ馬モ右同断也陰ノ馬ニモカ
マウノ心アル馬アリ然レ一旦ノ惡氣
ト知ルヘシ條々口傳

陽中之陰馬之事

陽中ノ陰馬トハ中悍之寒者也心
直ナレハ乘能者也馬ノ惣体上ニシ
テ馳ノ躰アラハ必早馬ト成ヘシ能
能心得テ馬ノ心ヲ取請足ヲ内ニ

能心得テ馬ノ心ヲ取請足ヲ内ニ
乗勞レヲ乗ヘカラス時々急ノ足ヲ
乗ヘシ鞍下口先ノ純合常ヨリ心
能時急ノ足ヲ乗者也馬ヲ誥テ
拍子ヲ十カク免スヘカラス口傳秘事
アリ

陰中陰馬之事

陰中之陰馬トハ大不悍ノ馬也誓
古手繩ニ及ス暗夜ニ盲目ノ如ク
成ヘシ

陰中之陽馬之事

陰中之陽馬トハ中悍ノ馬也心正
直ナレハ乗能者也陽中ノ陰馬ヨ
リ悍少シ内ナルユヘ鞍手繩ニカサヲ
拭ヘカラス調子ヲ引上請合ノ口鞍

掛へカラス調子ヲ引上請合ノ口鞍
下輕クシテ走欠ルナラハ馬ニ利ヲサ
セマクル心大一ノ秘事也勞足ヲ出
サセヌヤウニシテ純合ヲ馬ニ持セ引
ル事專也馬上体ニシテ馳ノ体ア
ラハ早馬トナルヘシ唯手綱ノ純合鞍
中心ニ秘事アリ口傳

大陽之馬ニ惡氣アルヲ吾口ト云陽
中之陽馬ノ兼掛ニテ鞍數日數重
ナレハ一旦ハ棄ル者也轡ノ大小ニ
口傳

陰馬ニ惡氣アルヲ不行馬ト云
陽馬ニ込ロアラハ痛口ト知ルヘシ前
強成ヲ口ニ痛ヲ付ハ必ス込者也坊
ル、イモアリ立、イモアリ痛ヲ直シテ

ル、一モアリ立一モアリ痛ヲ直シテ
兼立ヘシ口傳

陽馬ハ小長ニシテ引出靜也勿論
厩中ニテ陰成者也陰馬ハ大長ニ
シテ引出荒ク厩中ニテ陽成者也
故ニ陰陽ニ物ヲ辨テ兼機ヲホト
コス者也口傳

一身大極之事

兼人者天ヲ司テ馬背ニ駕テ一四
相也馬者地ヲ司テ下ニ位シ方ニ
走テ方相ナリ故ニ地之馬ヲ天之
兼人陰陽ニ理ヲ以テ教ヲナス馬
健ニシテ陽ヲ祭スレハ兼人離中斷
ノ轡懸ニ銜ヲ持セテ陰ノ掌ニ豊
ニ納テ動靜端ナリ陰陽始ナキカ

二 紂テ動靜端ナク陰陽始ナキカ
如ク繰返々キラス一ナク放サス取
スシテ兼ハ馬隨一妙成ヘシ

一天之響之事

口傳

一地之響之事

口傳

一陽之響之事

口傳

一陰之響之事

口傳

一氣之響之事

口傳

一心之響之事

口傳

一神之響之事

口傳

木火土金水則一身ニアリ山アリ川

アリ風アリ火アリ空躰アリ何物カ山

ヲ見テ山ト見水ヲ水ト見風ヲ風ト

聞マ神ノ之然ルニ馬ヲ兼事陰陽二

理也大陰大陽小陰小陽ノ教アリ坎

理也大陰大陽小陰小陽ノ教アリ坎
艮震巽離坤兌乾ノ形容アツテ一
毛モ私ナキ時ハ能諸ク馬ニ應スル者
也口傳

陽手綱トハ上調子清ク移テ程ヲ正
クスヘシ又逆ニ移テ陰ヲ破ル調子アリ
口傳

陰手綱トハ下調子清ク移テ程ヲ正
クスヘシ又序ニ反テ陽ヲ納ル調子アリ
口傳

陽策トハ不打策ヲ云也心ヲ乘也
陰策トハ打策ヲ云也節ヲ乘也
陽鞍トハ生鞍ヲ云也清輕キ鞍也
陰鞍トハ死鞍ヲ云也濁重キ鞍也
陽鐙トハ完ク鐙ヲ云也起シテ能ク

陽鐙トハ完ク鐙ヲ云也起シテ能ク
節ニ當ルヘシ

陰鐙トハ下鐙ヲ云也卧テ能ク節ニ
當ルヘシ

陰馬場陽馬場ト云事口傳南北之
馬場ニテ乘時ハ南ヘ向テ乘イダシ
乘納ヘシ東西之馬場ノ時ハ朝ヨリ
昼マテハ東ヘ向乘出シ乘納ヘシ昼
ヨリ夕陽ハ西ニ向乘出シ乘納ヘシ
陰ヨリ陽ヘ乘出ス心也口傳

諸々ノ手細心得秘事ヲ習歲月倦
ス心ヲ盡ストイヘ凡草木ノ如ク成ヘ
シ櫻ハ何レモ一樹ナレ凡八重一重アリ
牡丹芍薬モ一草ナレ凡種々ノ高下
アリ竹ニ鳴鶯モ初音出ストイヘ凡上

アリ竹ニ鳴鶯モ初音出ストイヘ上
中下ノ色音アリ人間同シ五倫五骸ヲ
稟トイヘ上人下人アレハ一重ノ花
八重ニハナラヌ物也自性質ニ徳アツ
テ性清リテ体直ニシテ色アル人善師
ニ隨ハ名人上手ニ成事也是又浦山
敷思フ事ニアラス能々心懸ヘシサモア
ラハ氣質ノ色ヨリ一重モ二重モナキ
所ノ色ヲモ稟者也

日月ノ光天地ヲ照シ上下残ス賤女ノ
卧屋ニモ光ニ高下ナシ是ヲ色光ト云
或日待月待ナトシテ心ノ正直ナルニ
利生アルヲ心光ト云月日ノ光余所ニ
アラス我一身ニアリ两眼ニテ多勢カ
ヲ一目ニ見渡スヲ色光ト云く多勢カ

ヲ一目ニ見渡スヲ色光ト云く多誓
ノ中ヨリ知者有テ撰出スヲ心光
ト云上悍中悍下悍百曲ノ馬成ト
イヘ氏騎トイナマ心光ニ浮テ上惡
中好下用凡品之口ノ内ニテノ請合
ノ口ヲ知人ニ逢カ如ク取留掌ニ納
メ兼掛テ馬隨フ事妙成ヘシ口傳

當流宗師

日本武尊

迎來流

貞純親王

鹿嶋流

八幡太郎

義家

當流宗師

日本武尊

迎來流

貞純親王

鹿嶋流

八幡太郎

義家

六條判官

為義

湯山入道中原

玄性

大坪流

大坪式部太輔

廣秀

村上加賀守

永幸

齊藤備前守

國忠

齊藤安藝守

好玄

齊藤備後守

忠玄

齊藤裔宮頭

辰遠

丹列住僧了慶坊

齊藤求馬助

辰光

齊藤奇宮頭

辰遠

丹列住僧了慶坊

齊藤求馬助

辰光

大坪本流

齊藤主統

定易

久保田宗順入道

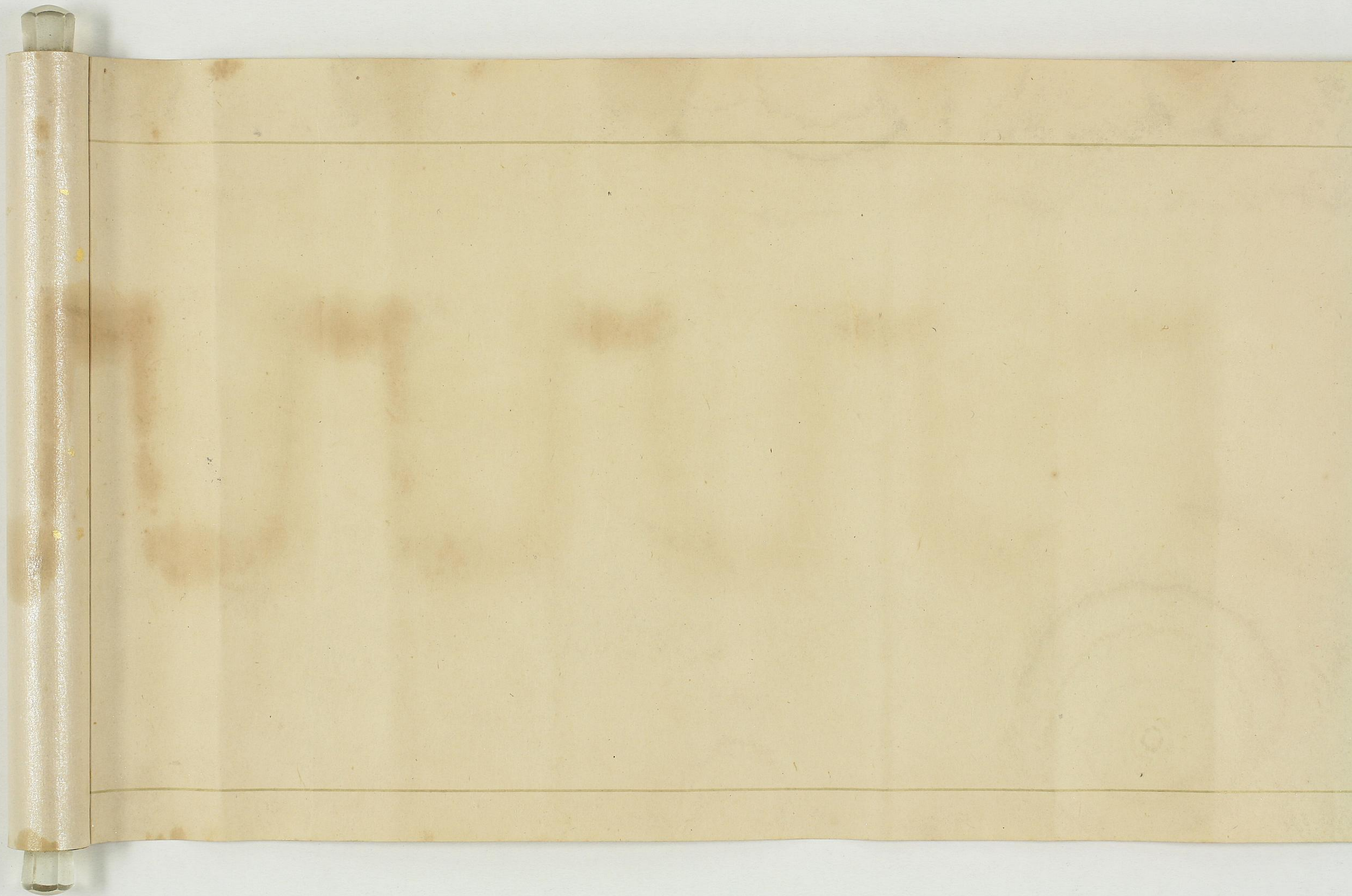
弘道

定易直弟

久保田多忠

定易直弟

久保田多忠



大坪本流應陽之卷

特別

ヶ5

754

14

